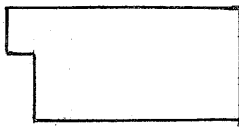


東部勤労者体育館新築工事地質調査位置図

◎ ボーリング地点

S = 1 : 400



ボーリング柱状図

調査名 東部運動者体育館新築工事地質調査 孔番 No. No. 1 地盤高 +0.155 m

調査場所 委託 宇都宮市今泉町

(基準面 仮BM±0)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和 55年 3月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 G L - 5.60 m

調査担当者 _____

標地下水 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		標準貫入試験									
					色 調	相対密 稠度		番号	記号	採取深度 (m)	原 位 置 試験深度 (m)	打 撃 回 数							
												0	10	20	30	40	50	60	70
	0			盛土	暗褐色		コンクリート岩塊 ローム等	1											
	0.25	0.25		表土	黒灰														
	1.00	0.35																	
	2			ローム	茶褐色	柔か	関東ローム 有機物少量混る 下部浮石混る。	1	1.1.2	1.15	4								
	2.80	1.80						2	1.1	2.15	2								
	3			鹿沼土	黄灰	い	含水あり。	3	1.1	3.15	2								
	3.90	1.10						4	1.1	3.45	2								
	4			ローム	茶褐色		下部砂質を呈 す。	4	1.35	4.15	1								
	4.25	1.05						5	7.33	5.15	50								
	6				茶	中位	礫φ 10~50% 主体。 φ 70%~90%位 の礫も介在。 7~8m間漏水。 8m附近より幾 分粘土質 礫φ 10%~30% 程度多い。 10m附近10cm 位の砂挟む。	6	9.10.10	6.15	29								
	7							7	50	7.15	50								
	8			砂 礫	灰	密な		8	77.	7.26	77								
	9							9	17.19.14	8.15	50								
	10							9	17.16.9	9.15	42								
	10.45							L	5.9.20	10.15	34								
										10.45									

ボーリング柱状図

調査名 東部勤労者体育館新築工事地質調査 孔番 No. No. 3 地盤高 -0.290 m

調査場所 宇都宮市今泉町 (基準面 仮BM±0)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和55年3月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-5.60m 調査担当者 _____

標地下水位 高度(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験									
					色調	相対稠度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数								
												0	10	20	30	40	50	60	70	
0	0.00	0.30	//	盛土	暗灰		アスファルト	3												
1	1.20	0.90	X	表土	黒灰			1	2	1.15	3									
2	2.75	1.55	//	ローム	茶褐色	柔	下部浮石混る	2	1	2.15	2	35								
3	3.70	0.25	---	鹿沼土	黄灰	か	含水あり	3	1	3.15	2									
4	4.85	1.15	//	ローム	茶褐	い	腐植物混る 下部砂質呈す	4	1	4.15	2									
5	6.67		○	砂礫	茶灰色	密	礫径 10~40mm 主体。最大径 70mm内外も介在。 砂混入多い処 挟む。	5	25	5.15	50									
6	8.15		○	砂礫	茶灰色	密	9m附近より 漏水。	6	6.67	6.15	19									
7	9.24		○	砂礫	茶灰色	密		7	18.2	7.15	50									
8	9.24		○	砂礫	茶灰色	密		8	35.15	8.15	50									
9	9.24		○	砂礫	茶灰色	密		9	50	9.15	50									
10	10.23		○	砂礫	茶灰色	密		10	50	10.15	50									
									8.	10.23	8									

ボーリング柱状図

調査名 東部勤労者体育館新築工事地質調査 孔番 No. No. 4 地盤高 -0.275 m

調査場所 委託 宇都宮市今泉町 (基準面 仮BM±0)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和55年3月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-5.75 m 調査担当者 _____

標地下水位 高度(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数					
										0	10	20	30	40	50	60	70
	0.60	0.60	//	盛土	暗褐色		礫等混る。	4									
	1.00	0.40	//	表土	黒灰												
			//	ローム	茶褐色		関東ローム			1	1.2.2	1.15	5				
			//	ローム	茶褐色					2	1.1.1	2.15	3				
	3.00	2.00	//	鹿沼土	黄灰		含水あり。			3	1.1	3.15	2				
	0.70	0.70	//	ローム	茶褐色		粘土質ローム 下部砂質を呈す。			4	1/30	4.15	1				
	4.95	1.25	○		茶灰色	密	礫φ 10~40% 程度主体 所々φ 80%内 外も混る。			5	16.25.9	5.15	50				
			○		茶灰色	な				6	40.10	6.15	50				
			○	砂礫	茶灰色	な	φ 30m漏水			7	10.20.20	7.15	50				
			○		茶灰色	な				8	11.12.16	8.15	39				
			○		茶灰色	な				9	20.20.4	9.15	50				
			○		茶灰色	な				10	23.27	10.15	50				
	10.35		○		茶灰色	な						10.35	20				